

公共施設再編の方向性について

1. 概要

- ・公共施設再編では、前期施設整備計画(R3.3)に基づき、設計等に着手している。
- ・後期検討(R6～R10)に向けた再編個別計画(改定)の策定(R6.6 予定)にあたり、今後の進め方の方向性を示す。
- ・なお、再編個別計画(改定)は、学校規模適正化等の考え方との整合を図ったうえで策定を進める。
- ・全市施設については、再編個別計画(改定)では再編モデルケースを示さずに「施設のあり方(以下、「あり方」と言う。)」の検討を進める。

		地域施設	全市施設
対象		市内に複数ある施設	市内に 1 , 2 しか配置していない施設
前期 (H31～R5)	対象	二中、三中、五中、(九中) 圏域	健康会館、ドリーム学園、練成館、歴史民俗資料館
	検討プロセス	①再編モデルケース※ ¹ 作成 (再編個別計画 (H31.1))	①再編モデルケース作成 (再編個別計画)
		②市民検討 (1 年間)	②市民検討→あり方
		③再編方針※ ² の決定 (前期施設整備計画)	③再編方針の決定 (前期施設整備計画)
見直し案			
後期(R6～R10)	対象	一中、四中、六中、七中、八中圏域	【次頁 3 . 参照】
	検討プロセス	①再編モデルケース作成(再編個別計画(改定)(R6.6))	【次頁 3 . 参照】
		②市民検討 (2 年間)	
		③再編方針の決定 (後期施設整備計画 (R9.9 予定))	

※1 再編モデルケース：「A案」「B案」といった市民検討の参考

※2 再編方針：建替え、改修などの具体的な方向性

「全市施設」は市の政策を踏まえて施設の需要や利用状況、交通利便性、コスト、周辺施設の状況などを考慮して「あり方」を検討することとしている。

2. 検討体制

前期検討時と同様に「立川市公共施設再編等検討委員会」を設置し、再編モデルケース等を検討する。

総合政策部長、行政管理部長、教育部長(追加)、企画政策課長、行政経営課長、総務課長、施設課長、財政課長、都市計画課長、教育総務課長、学校施設建替担当課長(追加)

※必要に応じて施設所管課等の出席及び資料の提出可

3. 後期対象の全市施設と方向性等

施設名	建築年度	所管部署	方向性	進め方
子ども未来センター	S45（1970）	地域文化課	・ R5～R8 までの間に「あり方」を策定（策定済みの場合はその内容を確認）した上で、今後の方向性を決定する。	・ 再編個別計画（改定）ではモデルケースは示さずに、「あり方」を踏まえて今後の方向性を定める程度の記載を想定。 ・ 「あり方」は、所管部署を中心に検討し、適宜、行政経営課と調整。 ・ 「あり方」を踏まえ、後期施設整備計画で再編方針を決定。
市民会館	S48（1973）			
泉市民体育館	S54（1979）	スポーツ振興課		
柴崎市民体育館	H4（1992）			
斎場	S54（1979）	福祉総務課		
総合福祉センター	H5（1993）			
女性総合センター・中央図書館	H6（1994）	男女平等参画課・図書館		
学校給食共同調理場	H25（2013）	学校給食課		

4. 全体スケジュール

